

6月20日に5名で集まって、会議方式について検討した時の討議内容(詳細)を以下に記載いたします。

決定内容については、先にメールでお伝えした次第です。発言者については、自由な議論を促していたこともあり、略させていただきました。

1.JDSFについて

JDSFについて口頭で紹介

2.経緯

社交ダンス部発足までの経緯を説明

現在メーリングリストの準備までは進んでいる事を説明

社交ダンス部のコミュニケーション方法として、全員が集まって会議をしていくのは現実的に厳しいことからWG(ワーキンググループ)としてITに関わっている方を中心として指名で協力をお願いした。

3.目的の確認

社交ダンス部として、今後の雑談・議論を進めていく上で、

- ・メーリングリストの使い方
- ・雑談・議論の進め方の枠組み
- ・上記に関する今後の相談方法について、枠組みを決めていく。

4.議論内容

【インフラ決定の前議論】

1) JDSFについて

- ・折角スタッフやメンバーが集まっていながら、時間が経っていくと熱が下がってしまう。
- ・社交ダンス部は、競技をやっていた人が、もう勝てなくなったから始めたい？
→そういう話はない。
全員が競技志向ではないので、技術認定など別の活動も進めていた
公益社団法人として、いろいろな方にダンスを広めていく一環。
- ・組織として、さっさと決めて実行すれば良いのに。
これでいきますと決めてやればよいのでは。
→メンバー主体で、スタッフは支援し、より良い結果に結びつけたい
考え方の方向性を皆さんで共有し、1つ形を作っていきたい
- ・市場調査が出来ていない
認知している人がどうして始められていないのか?
何をキッカケで情報を得ているのか?
情報不足、データがない

- ・別に JDSF は関係なく、イベントなど、やりたい人が勝手にやればよい。
→基本的には、今もそうになっている。
個人では実行するのに限界があるような場合、組織の力を得るのも一つ。
- ・ JDSF では何が提供できるのか？ 何が出来るのか？ どこまでできるのか？
予算があると良い。
大きなイベントでも入場料収入があるのだから、直ぐに出来るのでは？

2) 社交ダンス(部)について

- ・ ソーシャルって何？
プロ団体は社交のイメージはばらばら。何か形にして提示したい。
- ・ JDSF の活動として、今まで活動してきたが芳しくなく、
広くアイデアを求めて活動することになった？
- ・ 誰を対象としているのか？
子どもや親がダンスをやっている子は機会がある。触れる機会がない人に対するイメージ付けが必要
競技者から一般愛好者までのピラミッドを、正常な形にしたい？
- ・ 今回の活動は会員に向けての活動ではない。
- ・ 部員の活動方針が不明

3) 情報発信について

- ・ こういうものを、こういう風に進めている
組織の力を借りて情報発信したい。
- ・ 外部のイベントを禁止させないで、いろいろな活動とか知るチャンスが欲しい
- ・ +α の何かでフックが欲しい
極端なほうがメディアに受けやすいので、意識的に。ダンスビューでは物足りない。
- ・ "みどりふくろう" <https://ameblo.jp/tezawarikirakira>
(競技ダンス界について、観る専門ファン（ビギナー）が思うこと)
イベントに行ってみたいけど、どういうイベントが開催されているのか？
フォローが考えられる。
- ・ 皆で情報をやり取りするツールとして 3 つの目的が考えられる。
 - ① 情報、知識、事例共有
社交ダンスの魅力、失敗、・・・など、自分が経験していないことなど知りたい。
 - ② コミュニケーション活性。
モチベーションの点、組織として一体感を得たいなど
 - ③ 記録として保存、残すスペース
前に活動したことなど、参照出来るように記録として残したい

4) どんな情報発信がありうるのか

- ・ やれることをやっていきたい

1)(女性が)男装のビジュアル系

社交ダンスをやるのにあたり、若い人はいきなり男性とは嫌とか考えられる

2)コスプレと社交ダンス/BL(BoysClub)と社交ダンス

3)フォーメーションの発表の場や大会

何で盛り上がらない?

Twitter 等で発言など、窓を増やす。ちょっとでも良いものはやってみたほうが良い

→これ以上の議論については、今回の会議の趣旨とは離れるため中断。

【メーリングリストの使い方について】

- ・ 65 人に届く仕組みが欲しい

もっと便利なものが欲しいが、メールは嫌だ。

- ・ メーリングリストは古い仕掛け。ぐちゃぐちゃになる。
- ・ メーリングリストは連絡として伝達するのに必要。メーリングリストで良い。
- ・ コミュニケーション活性化に結び付けたいがメーリングリストではない

(Excel のメーリングリストに対する意見をあらためて参照)

- ・ イベントなど、告知や、人(協力者)の募集、相談などある。

- ・ 雑談や議論はやりたい人が勝手にやればよい

→活動の状況を、まとめた意味でメーリングリストが必要

イベント開催、告知、記録としてなどありうる。

上記目的であれば、関わる全員が投稿可能(議事録、企画書等)にしたほうが良い。

- ・ 雑談や議論については、別の仕掛けを持つようにする。
- ・ 告知などを目的として、メーリングリスト上で雑談や議論が始まらないよう

メーリングリストにファシリテータが居ればよい

→ファシリテートとして前田さんがやっても良いと。

【雑談・議論の進め方】

- ・ グループウェアのアイデアについて

→グループウェアは、小さなプロジェクト用

- ・ オンライン会議について

→ビデオ会議には興味がない。使いたければ、勝手にやればよい

→補助的にビデオ会議。

ビデオ会議として、Zoom/Google ハングアウト/Discord でも可能

こういうのがあります。推奨はこれですよ で十分。

- ・ポータルサイトとして
箱は大事。ネットでのコミュニティサイトは欲しい
SNS 上でもボトムアップで盛り上がっていくと良い
人が集まって議論の出来る場はあると良い。
Twitter 発信もありうる。
- ・社交ダンス部として
アイデア欲しい/この指とまれ が出来る場
- ・ツールは使いやすければ、責任者権限でも試してみる
- ・メッセージにファイル共有が欲しい

具体的なツールとして、

1) Discord

必要な機能はすべて整っており、非常に便利である。

よって、強く推します。

→ゲーム界のコミュニティツールとして確立され、評判の良いツールではあるが、社交ダンス部の公式ツールとして使えるものか、フラットな意見を伺いたく、瀬瀬さんに協力を仰いでテストしてもらう。宇久が調整。

2) 非営利団体としてフル機能利用可能な Workplace for Facebook

新たにツールのインストールが必要。

プライベートとは別にすることが出来る。

→却下

3) Facebook グループ

新たなツールのインストールは不要のため、利用のハードルは低い。

クローズの Facebook グループで利用するのが良い。

告知、広報など、表に出すときは別の仕組みが必要。

部内と部外は分けて考えるべき

社交ダンス部で、わかる部員については招待していける。

以上の議論の結果、Discord が利用可能か試した後、

Discord を使うか、Facebook グループを使うか早急に決定し、展開したい。

【そのほか】

- ・メールマガジン

意味はあると思われる。登録ページが必要。

キャリア(携帯)利用の方に届くかどうかの問題も懸念される。

料金含めて、必要であれば、佐藤さんが担当してくれる。

- ・承認フロー

メール配信や JDSF 等に関わる承認などについては、ここでは議論できないので、用意した雑談・議論の場をしたい。

【今後の相談方法】

今回、集まった方の議論としては、今回の一回限りと思われる。

今後の議論は、不要との考えもあったが、強く推薦のあった、Discord を利用して、コミュニケーションを継続していく。

Discord の使い方に慣れる意味もある。

5. 決定内容

先にメールさせていただきました。

以上となります。